



病後見だより

令和2年7月27日

梅雨が明けると、いよいよ夏の到来となります。

7月は、気管支炎での利用が3回ありました。

これからも、体調管理には十分気を付けましょう。

夏には多くの感染症があるので、今回は病名と症状などをお知らせ致します。



病名	症状	登園のめやす
手足口病	手、足、口に、さらに肘、膝、お尻に米粒ほどの水疱性の発疹ができます。口の中にできると、痛みで食事が困難になり、脱水症状をおこすことがあります。発熱や下痢、嘔吐をとまなうことも。	発熱や口腔内の水疱が治り、普段の食事が摂れること。
溶連菌感染症	急な発熱、倦怠感(身体のだるさ)、のどの痛み、嘔吐などを起こします。また、舌が赤くなり、ぶつぶつとした質感になることがあります。外見がイチゴに似ていることから「イチゴ舌」と呼ばれます。	抗菌薬内服後24~48時間が経過していること。
咽頭結膜熱(プール熱)	急な発熱(38~40℃)、のど腫れや痛み、リンパ節の腫れ、目やに、涙、充血など結膜炎の症状がみられます。	発熱、充血などの主な症状が消失した後2日経過していること
ヘルパンギーナ	急な高熱(39℃前後)と咽頭、口の中の上顎の奥の粘膜に、小さな水疱ができます。水疱が破裂し潰瘍状(かいようじょう)になることもあります。乳幼児に多く、食欲低下、嘔吐する場合があります。	発熱や口腔内の水疱が治り、普段の食事が摂れること。



~病後見を利用した方から~



1対1で見てもらえたので安心して預ける事が出来ました。



本人のペースでゆったり過ごしてもらえたのも◎!! 1日の様子を詳しく教えてもらえてありがたかった。



少人数で、しかも常に看護師さんがいるという事で、安心して仕事に行けました。



一人でさみしいかなと心配していましたが、楽しんでたようで安心して預ける事が、できました。

どうしても休みを取れず、熱も下がったので、後1日大事を取りたいと思い利用しました。

登園のめやすを載せましたが、症状が回復しても微熱が続いたり食欲や元気がなくて心配や不安な時は、ご相談ください。